



## 【2】G I H（岐阜産業遺産調査研究会）の会報第 99 号と第 107 回例会のご案内／高橋伊佐夫【New】

---

G I H（岐阜産業遺産逃散研究会）の会報第 99 号ができましたので皆様に配信いたします。  
また、第 107 回例会の案内も配信いたします。  
例会は非会員の方もお気軽にご参加頂くことができます。  
詳細は添付ファイルをご参照下さい。

---

## 【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 33 回のご案内【New】

---

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 33 回を下記の通り開催致しますのでご案内致します。

テーマ 「博物館における動態保存のあり方」

趣旨 博物館では機械など本来は動くものであれば動態保存することが望ましい。  
博物館展示の使命の一つは見学者にいかにも理解しやすい展示方法をとるかであろう。  
動態展示はその点では格段に情報量が多く、また動かすことで関心も呼ぶことになろう。  
しかし文化財保護の立場からは動かすことは消耗にあたりとされ、また動態整備への負担や課題も多い。  
実際に動態保存・展示している博物館での事例や行政の立場など、さまざまな角度から議論を深めたい。

主催 中部産業遺産研究会  
共催 トヨタ産業技術記念館  
日時 2015（平成 27）年 2 月 22 日（日）午後 1 時～午後 4 時 45 分  
会場 トヨタ産業技術記念館 ホール A  
参加費 中部産業遺産研究会会員 500 円（講演報告資料集の代金を含む）  
一般 1,000 円（講演報告資料集の代金を含む）  
○懇親会費 5,000 円

参加にはお申し込みが必要です。詳細は次のアドレスをクリックして開いて下さい。  
<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

参加申し込みフォームはこちら。  
<http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html>

技術士資格などをお持ちの方で C P D 参加票の発行を必要とされる方は、参加申し込みフォームから発行のお申し込みが可能です。  
（公益社団法人日本技術士会中本部に後援の依頼をお願いしております。）

---

## 【4】ABU Robocon 2014 準優勝の名古屋工業大学ロボコン工房を招いての講演会のご案内【再送】

---

名古屋工業大学ごきそ技術士会（名古屋工業大学卒業の技術士のグループ）では、11 月 29 日土曜日に、今年の「NHK 大学ロボコン」に優勝し、8 月 24 日にインドで開催されたアジア・太平洋地域の国と地域を代表する大学チームによるロボットの競技会「ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト（ABU ロボコン）」に日本代表として出場し、準優勝した名古屋工業大学ロボコン工房の顧問の水野直樹教授と学生の皆さんをお招きして、講演会を開催致します。

実際のロボコンに出場したロボットをみることも出来る予定です。

詳細は添付ファイルをご覧下さい。

一般の方の参加は無料です（懇親会への参加は有料になります）。

お気軽にご参加下さい。

お申し込みは次のホームページからお願いいたします。

[http://www15.plala.or.jp/hidekih/gokiso\\_reikai.html](http://www15.plala.or.jp/hidekih/gokiso_reikai.html)

お問い合わせは、橋本英樹（名古屋工業大学ごきそ技術士会事務局）まで。  
hidekih@wine.plala.or.jp

---

### 【5】「谷中の織物～100年前の資料を読み解く」のご案内／権上かおる【New】

---

「谷中の織物～100年前の資料を読み解く」 解説/玉川寛治さん（前産業考古学会会長）

今回譲り受けた1800年代末から1900年初めの製糸・織機・染色にまつわる英語・ドイツ語・フランス語などの美しい洋書と、谷中でおられていたリボンの見本帳やヨーロッパから持ち帰った小巾織物の実物、創業者・渡辺四郎氏が筆記した講義ノート…これらの資料を公開します。どうぞお楽しみに。

2014年11月25日(火)19:00～21:00

参加費：ワンドリンク代 500円（同額で追加も可）

会場：HAGISO 東京都台東区谷中3-10-25

JR山手線・日暮里駅北改札・西口より徒歩5分

地下鉄千代田線・千駄木駅・2番出口より徒歩5分

岡倉天心記念公園の目の前の黒い建物がHAGISOです。

玉川寛治氏：産業考古学会においても、織機に関しては右にできるものがないと言われる玉川さんは元大東紡織（株）技術者でもありました。

1934年長野県松本市生まれ。東京農工大学繊維学部繊維工学科卒業。

著書に『製糸工女と富国強兵の時代—一生糸が支えた日本資本主義』（2003）、『資本論』と産業革命の時代 マルクスの見たイギリス資本主義』（1999）など。

「復活に向けて 谷中のご屋根展 in HAGISO」は12月7日まで（12月1日休み）

<http://www.yanesen.net/topics/detail.html?id=914>

谷中のご屋根会 WEB はこちら。

<http://nokoyane.com/>

---

### 【6】（書籍紹介）「釧路炭田 炭鉱（ヤマ）と鉄道と」／権上かおる【New】

---

釧路博物館の学芸員をしている知人が、以下の本を出版しました。

働く鉄道の姿をとらえています（直売のみのようなので、購入は直接釧路博物館友の会へ）。

---

書籍「釧路炭田 炭鉱（ヤマ）と鉄道と」9月23日発売

---

著者：石川 孝織（釧路市立博物館学芸員）

価格：1,200円（税込） 発行：釧路市立博物館友の会／水公舎

A5判 198ページ 2014年9月刊 ISBN978-4-905307-08-2

<http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/tomonokai/coalbook.html>

2012年9月から14年2月まで連載、好評を得た北海道新聞（釧路面）の「記憶の1枚・釧路炭田再発見」。全70回のうち写真特集を除く64回と、2014年1～3月の釧路市立博物館企画展「釧路炭田の炭鉱と鉄道」にて収集・展示した記録写真107枚を収録しています。

「石炭産業は輸送業である」…日本唯一の炭鉱鉄道である太平洋石炭販売輸送（旧 釧路臨港鉄道）、また閉山と運命をともした雄別鉄道・尺別鉄道、そして国鉄白糠線など石炭輸送をテーマとした第一部。

「なぜ釧路には日本唯一の坑内掘り炭鉱があるのか？」太平洋炭砒（現 釧路コールマイン）の炭鉱マンの奮闘をはじめ、惜しくも閉山していった雄別や尺別など釧路炭田の各ヤマ、

その仕事や暮らしに迫る第二部。

どちらも関係者への丹念な取材と資料調査をもとに迫るルポルタージュです。

釧路市立博物館のほか、コーチャンフォー・リラブ道内各店（釧路/札幌/旭川/北見）、豊文堂書店本店・北大通店（釧路）にて、[9月23日（火・祝）]より発売いたします。

[ご注意] 他の一般書店・ネット書店での取り扱いはございません

【通信販売でもお求めいただけます】

郵便局の払込用紙にてお申込ください。

口座番号：02730-5-5674 加入者名：釧路市立博物館友の会

通信欄に書名、冊数、送付先を記入し、

書籍価格（1冊1,200円）に荷造送料（1冊100円・2冊150円・3～5冊200円）を加えてご送金ください（送金手数料はご負担下さい）。

およそ1～3週間でゆうメールにてお届けします。

<http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/tomonokai/coalbook.html>

【お問い合わせ】釧路市立博物館友の会

[担当] 事務局・石川孝織（釧路市立博物館）

電話 0154-41-5809 ファクス：0154-42-6000

メール：museum@city.kushiro.lg.jp

---

## 【7】田原市博物館の企画展のご案内／藤井建【New】

---

田原市博物館において三河田原駅開業90周年企画展「渥美線—渥美半島と外界をつなぐ鉄路の物語」が平成26年12月6日（土）～平成27年2月1日（日）に開催されます。

写真・ジオラマ・鉄道部品・広告などの資料と思い出から、渥美線と田原・渥美半島の人・モノ・ことを巡る物語を紹介します。

詳細は次のリンクのPDFファイルをご参照下さい。

[http://www.taharamuseum.gr.jp/exhibition/ex141206/pdf/exhibition\\_atsumisen.pdf](http://www.taharamuseum.gr.jp/exhibition/ex141206/pdf/exhibition_atsumisen.pdf)

田原市博物館ホームページ

<http://www.taharamuseum.gr.jp/>

---

## 【8】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第8回／杉本漢三【New】

---

### 緯度・経度と座標

大航海時代、緯度は北極星の位置から容易に求めることができたが、経度を決めることは困難を極め、1707年にはイギリス艦隊は緯度の測定ミスで4隻が沈没、2000人死亡の海難事故が発生した。このためイギリスでは経度測定法の開発に高額な懸賞金(2万ポンド)がかけられたが、J・ハリソン(John Harrison; 1693～1776)が1735年に精密な時計(クロノメーター)の1号機を完成させて獲得した。そしてグリニッチ子午線を基準とする方法が世界的に広がったのである。このハリソンのマリン・クロノメータは、グリニッチ王立天文台博物館に行くと見られる。

緯度・経度は緯線と経線という直交する2本の直線上に割り振られた数値であり、同様に天空の位置は、赤緯・赤経の数値で表す。数学の直線や放物線のグラフでは、点の位置をX軸、Y軸を使って点(1, 2)のように表すが、この位置を表す数の組が「座標」である。このように二つの数で平面上の点の位置を表す座標は、フランスの哲学者、数学者ルネ・デカルトの名から「デカルト座標」と呼ばれている。座標の概念が数学を飛躍的に発展させた。

タッチパネルの画面をなぞるのは、コンピュータ内部では座標の計算処理しているのであって、長い歴史のある座標の威力が活かされている。

参考：(1) 朝日新聞 2014.6.1 「数と科学のストーリー」より抜粋および追記

(2) 機械工学史、三輪修三著、丸善、平成12年11月30日

# G I H 会 報 No. 9 9

(Gifu Industrial Heritage)

岐阜産業遺産調査研究会 2014年11月20日発行

第106回研究会は、2014年10月11日(土)に岐阜市鞆屋町の「空穂屋」(国の登録文化財)で実施しました。その報告内容は下記をご覧ください。  
今回の研究会参加者は5名でした。

## 1. 重要文化的景観「長良川中流域における岐阜の文化的景観選定記念講演会」参加報告 報告者 大田 博行 会員

今年3月に都市型の景観としては3例目(金沢・宇治・岐阜)として、選定された事を記念しての選定委員の講演会が7月にあり、また岐阜市教育員会 社会教育課よりこの概要を紹介した小冊子が発行されましたので報告致します。

文化的景観とは「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業のため欠くことのできないもの」と定義されており都道府県又は市町村の申し出に基づき選定されます。

岐阜市の場合には長良川、金華山、道路、水路、建築物を抽出しています。

この冊子の中に当研究会としても推奨している岐阜市の産業遺産(鏡岩旧ポンプ場・特種堤・空穂屋)が紹介されているので 今回の例会会場の空穂屋の文化財登録にもご尽力された岐阜市教育委員会 社会教育課 文化財担当の高木さんをお願いして当研究会メンバーへ冊子を寄贈頂いたので同封致します。

今後も岐阜市に対して他の産業遺産(忠節用水ロボット水門・小宮神水力発電所の旧水車・発電機:岐阜市に最初に電気を送った)等も景観にふさわしい物(発電機・水車は室内展示:例ポンプ小屋)として紹介し、更に来訪者に興味を持ってもらえるよう当研究会としても協力したいと思います。

## 2. 「岐阜の近代産業遺産」紹介DVD作成についての 中間報告 報告者 大田 博行 会員

研究会員所有の写真データは1998年以前のプリント写真が主体で、これらを再度デジタルカメラで複写し直して、電子データ化する作業を進めて参りましたが ご提供頂いた写真はほぼ電子化が終わりました。

今後はDVD(パソコンがなくてもテレビ: DVDプレーヤーで見られる)への変換作業に入りますが、一部試作のデータを例会参加者にご覧頂きご検討頂きました。

- ・冒頭のメニュー画面で市町村別の選択を出来るようにする。
- ・簡単な写真説明文を最初に数秒(説明の文字数によって変わる:完全に読めるだけの時間)黒画面で出すか、写真内にテロップ形式で流すか。
- ・写真の映写時間はどの程度がよいか(試作は7秒)。
- ・専門略語は使わない(P/S:発電所・SL:蒸気機関車)。
- ・今は撤去処分や取り壊されてしまった物でも映像としては貴重(これしか無い)であるので注釈を付けて市町村内で紹介するか、別ジャンル(失われた産業遺産)として紹介するか。

以前より幾度もご検討いただいておりますが、最終の掲載データの確定にはまだ至っておりませんが、まだ写真プリントデータすら無い物や、近年消失した物、新しく紹介したい物等の確認も必要かと思われますので、これらの作業も並行して進める必要も有りますので引き続きご協力をお願い致します。

### 3. 「岐阜県内の産業遺産」HP改訂について

報告者 広瀬 泰正 会員

現在のHPを見ながら、次のような改訂すべき点を参加者で確認することができた。

- (1) 現在のHPに掲載されているものはできるだけすべて資料として残す。  
撤去や移動や保存などがなされているものもすべて写真と共に年月を列記する。
- (2) 説明の表は、物を中心に記述する。「遺産名称」「製造年月」「製造者」「製造場所」「製造目的」「概要」「保存場所」のような順に統一する。
- (3) 写真とデータ一覧を作成し、原作者の高橋伊佐夫さんにチェックしてもらう。その後広瀬泰正がHP化する。
- (4) HPは容量を現在の10MGから20MGにアップする。
- (5) 新しく追加する産業遺産があれば検討する。
- (6) 市町村合併前の所在と合併後の所在がわかるように表記する。例えば飛騨市（吉城郡・神岡町）などのように。
- (7) 地図は合併後の地図に置き換える。
- (8) 物による検索の項目はなくす。

今後、研究会の中でさらに意見を交換していけたらと思います。

### 4. 松尾池の明治期砂防堰堤調査について

岐阜市長良の山中に現存する松尾池の砂防堰堤が「たたき工法」による施工なのか「練り石積み構造」なのか、現地の松尾池で砂防堰堤構造調査が12月13日(土)の午前10時から、木曾三川フォーラムと中部産業遺産研究会の共催で実施されます。この調査にご関心がある方は参加して頂いてもよいとのご案内を頂きましたので、ご紹介いたします。

### 5. 次回(第107回)研究会について

次回の研究会は2014年12月20日(土)にしました。会場は、岐阜県図書館2階の研修室1です。内容は別紙第107回案内をご覧ください。

# GIH 第 107 回研究会のご案内

第 107 回研究会は下記の日時・会場で行うことにしましたので、ご案内いたします。内容は前回の継続です。会員でない方でも気楽にご参加頂ければ有り難いです。

日 時 ; 2014 年 12 月 20 日(土) 午後 2 時～午後 5 時

会 場 ; 岐阜県図書館 2 階の「研修室 1」

内 容 ; 下記のテーマです

## 1. 「岐阜の産業遺産」DVD づくり再検討

提案者 : 大田 博行 会員

プロジェクターで原稿を見ながら、参加者からご意見を頂きながら DVD づくり完成を目指し再検討します。

## 2. 「岐阜の産業遺産」HP 改訂作業再検討

提案者 : 広瀬 泰正 会員・高橋伊佐夫 会員

プロジェクターで原稿を見ながら、参加者から改訂のご意見を頂き、HP 改訂完成を目指して再検討します。

# ごきそ技術士会例会のご案内

「ABUロボコン世界大会準優勝に輝いたロボットと、それを開発した学生たちに出会える1日」

2014年10月吉日

名古屋工業大学ごきそ技術士会事務局

## 1 名古屋工業大学ごきそ技術士会

名古屋工業大学ごきそ技術士会(略称ごきそ技術士会)は、2010年に「創造性豊かなサロン」として発足しました。技術部門を越えて会員の相互研鑽と親睦を通じ、名古屋工業大学の学生や教職員と交流できる場の創設や、名古屋工業会、日本技術士会、他大学技術士会とも連携しながら、会員の職務能力の研鑽を図り、地域そして社会への貢献に寄与して行きたいと考えています。また設立から5年目に入ったごきそ技術士会はこれからが正念場であり、新たな事業計画を進めていきたいと考えております。

さて、第17回例会を11月29日(土曜日)午後開催いたします。今回は、ABUロボコン世界大会の話題を取り上げます。テーマ「A SALUTE TO PARENTHOOD」、のもとに、日本国内で名古屋工業大学ロボコン工房のロボットが見事優勝し、日本代表として出場しました。さらに、<プネ<インド>において、世界大会が開催され優勝はベトナムのラクホン大学に譲ったものの、名古屋工業大学は準優勝という輝かしい栄誉をえました。

そのロボコン工房の活躍ぶりを、担当教員としてご指導をされておられます水野直樹教授(機械工学科、創成シミュレーション工学専攻、M53)に基調講演をいただきます、さらに学生諸君にプレゼンテーションしてもらいます。

その後フリーディスカッションを展開したいと考えております。世界大会準優勝に輝いたロボットに出会い、それを開発した学生と語り合える1日となると思います。多くの方の奮ってのご参加をお願い申し上げます。



注記: ABU ロボコンとは、ABU(Asia-Pacific Broadcasting Union. アジア太平洋放送連合、日本のメンバーは NHK)が主催する事業であり、ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト(ABU Asia-Pacific Robot Contest)を開催している。2002年8月の東京大会を第1回として、アジア太平洋地域の各国で毎年開催され、2014年インドにて第13回大会を開催した。(写真は ABU ロボコンのホームページから)

## 2 例会のご案内

### ◆◆◆ 例会のご案内 ◆◆◆

日時: 平成26年(2014年)11月29日(土曜日) 13:30~17:00 (13:00 受付開始)

場所: 名古屋工業大学 **名古屋工業大学学生会館1F 大食堂**

13:30~ ABUロボコン世界大会の報告

◎基調講演「ロボコン工房の歩みとABUロボコン世界大会(仮題)」

名古屋工業大学教授 水野直樹先生

◎名古屋工業大学ロボコン工房の学生によるABUロボコン世界大会についての報告

プレゼンテーション(デモンストレーションを含む)

15:30~ 休憩

15:50~ フリーディスカッション:「ロボットコンテストをめぐって」

○名古屋工業大学ロボコン工房の学生諸君

○ごきそ技術士会 副会長 打田憲生技術士

○ごきそ技術士会 幹事 橋本英樹技術士(元名古屋工業大学鉄道研究会会長)

☆交流会: 17:00~19:00 **名古屋工業大学学生会館1F 大食堂**

◎例会参加費: 一般市民/学生・教職員/修習技術者 無料 (ごきそ技術士会会員のみ 1000円)

○交流会費: 4000円 (ロボコン工房関係学生及び水野先生はご招待)



### 3 連絡先

ごきそ技術士会の例会参加フォームを作りましたのでお知らせいたします。例会参加の申し込みは、こちらから願います。アドレスは次の通りです。

なお、会場設営、資料等の準備の都合上、**11月26日(水)**までにご連絡をお願いいたします。

[http://www15.plala.or.jp/hidekih/gokiso\\_reikai.html](http://www15.plala.or.jp/hidekih/gokiso_reikai.html)



#### ◎ 名古屋工業大学ごきそ技術士会入会のご案内

##### ◎◎◎ 入会のご案内 ◎◎◎

会費：年会費無料、例会等にはその都度実費(会場費及び講師謝金等の按分の負担金)を徴収します。

(正会員のみ、準会員、特別会員は無料、賛助会員は別途)

入会金：事務処理等の経費として、1000円ご負担していただきます。

(正会員のみ、準会員、特別会員は無料、賛助会員は別途)

連絡手段：会員への連絡は、当面電子メールを通信手段としたいと考えております。まずは以下のアドレスにアクセスしてください

○事務局 田中秀和技術士(情報工学部門、Es48)のメールアドレス

[hitanaka@daido-it.ac.jp](mailto:hitanaka@daido-it.ac.jp)

○会計幹事 橋本英樹技術士(金属、総合技術監理部門、Zk1)が開設しているホームページがあります。

<http://www15.plala.or.jp/hidekih/nitpe/>